

日本共産党市議会報告

2020年2月定例市議会報告特集

2月定例市議会は2月19日(水)～3月24日(火)までの35日間を会期として開かれましたが、和歌山市職員の新型コロナウイルス感染が確認されたことにより、予定を早め、3月19日(木)に閉会しました。

2月28日(金)午前、総額43億4900万円の2019年度一般会計補正予算案など計32件の議案について、各常任委員会委員長報告・討論・採決し、すべて原案どおり可決・同意されました。また、日本共産党を含む全7会派の共同提案による「台湾の世界保健機関(WHO)への加盟を支持し必要な支援を強く求める意見書」を採択しました。

同日2月28日(金)午後からの施政方針説明の前に、尾花市長から新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、3月2日から春休みまで和歌山市立小・中・特別支援学校を臨時休校にするなどの報告がありました。

3月19日(木)、総額2893億183万2千円(一般会計1503億1430万3千円、特別会計989億6259万3千円、公営企業会計400億2493万6千円)2020年度当初予算、条例の制定・改正・廃止など計48議案について、常任委員会委員長報告・討論・採決し、すべて原案どおり可決・同意され閉会しました。

2019年度補正議案等の 討論・採決(2月28日)

日本共産党市会議員団は、32議案中19議案に賛成し、13議案については問題点を指摘し、南畑さち代議員が代表して反対討論を行いました。

反対討論の内容として、議案第1号:2019年度一般会計補正予算、議案第2号:国民健康保険特別会計、議案第6号～8号:住宅の土地の貸付事業に係る特別会計、議案第13号:介護保険特別会計、議案第14号:後期高齢者医療特別会計、議案第16号:水道会計、議案第21号:児童福祉法に係る費用に関する条例の一部改正、第22号:母子保健法に係る費用の徴収条例の一部改正、議案第25号:土地および建物の取得にかかる権利変換計画変更の同意及び負担金変更契約の締結、第28号:一般会計補正予算第6号繰り越し明許での、「和歌山城前広場整備に係るもの」「スカイタウンつつじが丘テニスコートの周辺整備事業」、第29号:卸売市場特別会計補正予算第4号繰り越し明許などについて、市民負担の増額や市の主体性、事業の緊急性、必要性、金額積算の妥当性などの点で問題があり、反対です。



日本共産党市会議員団の 代表質問・一般質問

6人全員が本会議で質問しました。中村議員は会派代表質問を行いました。(質問順に掲載します。裏面に続きます。)

中村あさと 議員 ●建設企業委員 ●地震等災害対策特別委員
●議会運営委員 ●広報委員



市民のギャンブル依存症対策より、 カジノ誘致を優先しても良いと 判断したのか

中村: カジノによるギャンブル依存症の拡大、本来なら地域社会で使われるお金がカジノに使われ地域経済の活力の低下、世論調査でも国会議員の汚職事件まで起こっているカジノ整備は見直すべきとの意見が70%を超えています。このような点から、IR・カジノ誘致は行うべきではありません。

市長: カジノを含むIRが実現すれば、世界から注目され、国内外からの観光客が飛躍的に増加し、大きな経済波及効果や雇用が生み出されるなど、計り知れない可能性があります。依存症については、市民に正確な説明をし、市民や議会の皆さまの合意形成に努めます。

長期的視点をもって水道管の老朽管対策の計画を

中村: 随伴工事に伴う管の布設のため老朽管の布設替えができなかったと答弁されています。管の更新率は年々低下し、一昨年は0.08%と極めて低い水準です。後の世代にしわ寄せすることの無いように、長期的な視点で老朽管対策をすべきです。

局長: 今後、管路の更新にも重点的に取り組みたいと考えています。また、各水系ブロックの細分化については、漏水防止対策など維持管理を行う上で有効な

2020年度当初予算(総額2893億183万2千円) の新規・拡充予算の主なもの

- ①老朽管等配水管更新事業(18億2,228万5,000円)、②就学援助の充実(1億7,653万7,000円)、③(仮称)城前広場の整備(1億4,993万9,000円)、④京橋親水公園と歩道整備(7,534万3,000円)、⑤市立和歌山高等学校のトイレ洋式化(6,186万2,000円)、⑥英語教育の推進(4,384万7,000円)、⑦私立保育所等への障害児の受け入れ促進(3,988万8,000円)、⑧配水池の防災対策事業(3,261万6,000円) ⑨老朽化した空き家の除却促進(3,000万円)、などです。

2020年度当初予算等の 討論・採決(3月19日)

日本共産党市会議員団は、48議案中32議案に賛成し、16議案については問題点を指摘し、森下さち子議員が代表して反対討論を行いました。また、継続審議中の請願3号(和歌山市立小・中学校図書館に教育委員会の直接雇用による専任の学校司書の配置を求める請願)の不採択には反対しました。

反対討論を行った16議案の内容として、

議案第33号:2020年度一般会計予算について、(仮称)城前広場について、市が勝手に建物を建てるのではなく、キッチンカースペースを設けるなど、商業施設として使用していただく方々の話を聞くなど計画を見直すべきです。・マイナンバーカード普及として昨年の3倍近い2億1,867万7千円の予算になっていますが、個人情報・プライバシー権の侵害という危険性を持っており問題があります。・公衆浴場利用券及びバス利用券のどちらかの選択制は障がい者施策の後退です。・若竹学級について新年度162名の待機児童が出る見込みだということ直ちに対策を取るべきです。・学校司書を1人から3人に増やしますが、国の基準からみても18校の中学校にすら配置できない人数で不十分です。

議案第34号:国民健康保険事業特別会計、第36号:土地造成事業特別会計、第38号:住宅改修資金貸付事業特別会計、第39号:住宅新知己資金貸付事業特別会計、第40号:宅地取得資金貸付事業特別会計、第41号:駐車場管理事業特別会計、第45号:介護保険事業特別会計、第46号:後期高齢者医療保険特別会計、第49号、第50号:水道事業、工業用水道事業会計、第51号:下水道事業会計、第59号:国民健康保険条例の一部を改正する条例の制定、第64号:身体障害者等訪問入浴サービス事業条例の一部を改正する条例の制定、第72号:改良住宅条例の一部を改正する条例の制定については、市民の個人情報の侵害や漏えいの危険性、市民負担の増額、事業の計画性・緊急性・必要性・主体性、金額積算の妥当性、公平・公正性などの点で問題があります。

議案第79号:市長等の給料の特例に関する条例の一部を改正する条例の制定について、市長の給料を今年の4月、5月の2か月分それぞれ20%減額しようとするものですが、理由の一つは漏水工事の断水にかかわるもので一定理解できないことありません。しかし、二つ目の理由として、旧同和事業にかかわる公金の不適正支出にかかわるもので、市長の給料カットで幕引きとするようなことは断じて許すことはできません。

手段であり、検討すべき課題であると考えています。

市民の暮らしを守り、より充実していくために、 市の施策の充実を

中村: 昨年10月の消費税増税により家計は大打撃を受けるなかで、国の「全世代型社会保障」の名による社会保障への負担過大と社会保障給付費の削減で、市民の暮らしはますます厳しい状況となっています。市民の暮らしを守るため、市の施策の充実が必要です。

市長: 他市と比べて保険料が高く、市民の負担となっていることは認識しています。医療費の適正化と介護保険制度の安定した運営が必要と考えています。

ジェンダー平等・気候緊急対策などをかかげる SDGsの具体的取組みを

中村: 男女の賃金格差、本市における女性管理職比率や非正規雇用の男女比、男性の育児休業制度の低取得率など、具体的な改善策が必要です。また、気候緊急対策としてゼロカーボンを見据えた、ごみの減量など具体的な対策についての取り組みが必要ではないでしょうか。

市長: 未来都市計画に掲げた6つの優先目標に加え、本市が行う事業の多くが、SDGsの理念に資する取り組みであります。各部局間の連携を促進し、SDGsの視点を取り入れた取り組みを進めてまいります。また、ゼロカーボンについては、パリ協定の目標達成に向け、本市においても動向を注視してまいります。

さかぐち多美子 議員 ●厚生委員 ●広報委員



「同居する家族がいたら生活援助サービスが受けられない」市民の悲痛な声

さかぐち：市が作成したケアマネジメント支援マニュアルに「同居する家族がいる場合には原則サービスの提供はできません」と記載しています。厚労省通知に基づけば、間違った認識で削除するべきです。

局長：生活援助は、利用者や家族等が家事を行うことが困難な場合、利用者の生活を維持するために必要なサービスであると考えています。マニュアルについては、間違っただけで認識されない記述に改めるよう検討してまいります。

さかぐち：介護保険の本来の目的を見誤り、介護保険からの離脱（卒業）を促すような財政的インセンティブはやめ、公費負担を増やすよう国に要望すべきです。

市長：介護保険制度を持続可能なものとするため、国に対して必要な財源措置を講じるよう引き続き要望してまいります。

中学校給食を小学校のような温かい全員給食に

さかぐち：県内で和歌山市だけ、中学校での全員給食を実施していません。施政方針で「子育て環境日本一をめざす」「時代を担う子供たちの輝ける未来に重点的に投資する」と掲げています。「食べること」はいつも政治の中心課題にあるべきで、子どもの貧困対策からも、小学校のような温かい全員給食を中学校でも実施すべきです。

市長：学校給食法並びに子ども貧困対策大綱の目的に基づき、教育委員会が実施しているアンケート結果も踏まえて、子どもたちにとって望ましい中学校給食のあり方を検討してまいります。

森下さち子 議員 ●経済文教委員 ●花山水系漏水に関する特別委員



IRについて、市民のギャンブル依存症よりも経済波及効果優先で良いのか

森下：市長は「確実なギャンブル依存症対策として外国人専用とすることが一番良い」「市民の不安が強い中、この考えは変わっていない」と言ってきたにも関わらず、昨年12月に突然これまでの発言を撤回。市長の責任において、立ち止まって再考することを求めます。

市長：県が策定したIR基本構想では、これまでにないスケールの事業であり、本市の飛躍的な発展の起爆剤になると考えています。今後、カジノ施設は外国人専用とせず、誘致活動を進めていきます。

自治会長の詐欺事件、子ども会支援補助金の不正支出など、旧同和对策事業が原因

森下：旧同和对策事業を聖域化し、職員が勇気をもって報告しても聞かない、誰もが問題にできない状況を市自身が作り出しました。二度にわたる包括外部監査の改善要求を受けとめ、市として総括するべきです。また、芦原文化会館の利用について、未だ検討中とのことですが、早急に本来の条例に基づいた運用をすべきではないでしょうか。

市長：自浄作用が働かなかった公共工事の不当介入、人権教室・識字教室に係る不適正支出問題など、事業を漫然と繰り返していたことが原因。今後すべての事業についても、検証し、このような事態が生じないよう再発防止策を講じます。

局長：芦原文化会館を利用するための使用許可申請について、明確な事務手続きを定めていませんでした。新年度からは、全ての文化会館において、和歌山市隣保館条例や要綱を踏まえて、広く住民に利用できるよう、事務手続きを検討してまいります。



南畑さち代 議員 ●厚生委員



計画相談事業所が減少している。運営が成り立つよう支援を！

南畑：障害サービスを利用するときに必要な計画相談事業所の運営が厳しいと聞くと計画値と実績はどうなっていますか。支援が必要と思うがどうでしょうか。

局長：計画相談支援の利用者数は年々増加しています。事業所数は37箇所を指定しているが8箇所が休止状態となっています。多くの事業所が一人の専門員で作成業務を行っていることから運営が厳しい状態になったものと考えます。報酬単価について事業所から、算定基準の見直しを求める声もあるため、令和元年11月、近畿福祉事務所長連絡協議会から厚労省に報酬単価等の見直しを要望しています。

災害時要援護者支援策の充実を

南畑：指定避難所に、要配慮者の方が周囲を気にせず過ごすためのスペースが確保されていることを防災訓練や災害時要援護者登録制度の中で周知してはどうでしょうか。また、要援護者の避難について当事者や支援者を入れて考えてはどうでしょうか。

局長：災害時要援護者登録制度の中で、要配慮者のスペースがあることを多くの方に知っていただけるよう情報発信の方法などを検討し、周知に努めます。市と地域の支援者と当事者が一緒になって、地域の特性や実情に合わせた避難支援を進めていけるよう、取り組んでいます。

井本ゆういち 議員 ●総務委員 ●地震等災害対策特別委員 ●花山水系漏水に関する特別委員



水道管の老朽管対策は待ったなし

井本：本年1月に花山水系漏水による断水告知で大混乱した和歌山市の水道老朽管の更新率は2018年0.08%。60年以上経過した老朽管は10年後には114kmになり、毎年0.76%の更新率が必要ではないでしょうか。

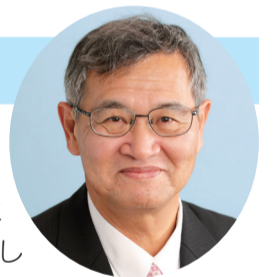
局長：配水管更新事業を拡充し、重点的に取り組み、管路更新率の向上と維持に努めます。

改良住宅の空き家（約300軒）は、公平・公正に全市民に公募とすべき

井本：改良住宅条例は22年前に大きく変わり「空き家については公募するものとする。」と、はっきりと書かれています。しかし、条例が大きく変わったというのに、例外規定を拡大解釈して、いまだに300軒近い空き家を抱えたまま、1軒も公募することなく今日まで至っているのは、公平・公正な行政を願う市民に背を向けているものです。公募することを強く求めます。

局長：地域住民の居住の安定を確保することが適切であるため、現時点では公募することは考えていません。

ひめだ高宏 議員 ●総務委員 ●議会運営委員



浸水対策の時間雨量50ミリ対応について

ひめだ：市街化区域における時間雨量50ミリに対応する浸水対策ですが、最近の雨の降り方を見れば、50ミリでは対応しきれないのではないかと思います。

局長：時間雨量50ミリに対応した施設整備を継続しつつ、近年の降雨状況や浸水被害状況を鑑み、気候変動への適応策のあり方について検討してまいります。

新型コロナ検査体制能力について、より一層の充実を

ひめだ：新型コロナウイルス対策に関連した経費について、市として国に求める用意はあるのでしょうか。また、市の検査体制能力をより一層充実していただきたい。卒業式や卒業式について通知表や卒業証書授与はどのようにするのでしょうか。

市長：新型コロナウイルス対策に要した経費については、地方負担が生じないように、国に財源措置を求めてまいります。

局長：検査数が多くなった場合は、過去にPCR検査を担当した職員を新たに訓練し、その応援により検査体制能力を増加させます。通知表は家庭訪問等で対応。卒業証書については、「学校で子どもたちに直接手渡す機会をもってしてほしい」という保護者の希望にも沿えるような形を検討しているところです。

野犬対策について

ひめだ：介護サービス事業所で仕事をしている方から、訪問先の雑賀崎に野犬がいるので怖いという話を聞きました。市が実施している野犬対策はどのようなものなのでしょうか。

局長：動物愛護管理センターに寄せられる野犬に関する苦情内容は、糞尿被害や農作物被害、危険性の指摘に基づく捕獲の依頼です。雑賀崎周辺には野犬が多いため、複数の捕獲箱を常時設置すると共に、犬捕獲員による定期的な巡回を行っています。

日本共産党市議会だより 2020年4月

日本共産党和歌山市議員団 TEL435-1113 FAX421-4181 ホームページ <http://jcpwkym.sakura.ne.jp> ホームページでは、日々の各議員活動報告等を掲載しています。

